

## 情報セキュリティ外部監査結果報告書

平成 21 年 3 月 31 日

日野市

情報セキュリティ統括責任者

河内 久男 様

株式会社 JMC リスクソリューションズ



本監査は、平成20年度日野市情報セキュリティ監査を実施した結果について報告するものです。

弊社は、監査対象所属が日野市情報セキュリティポリシーに基づき実施している情報資産の管理、各種情報処理システムの保守・運用、職員研修等の情報セキュリティ対策について、基準等に準拠して適切に実施されているか否かを、第三者による独立かつ専門的な立場から、点検・評価し、問題点の確認、改善方法等についての検討、助言等を行うことで、情報セキュリティ対策の向上に資することを目的とし実施しました。

また、本監査の実施は、日野市情報セキュリティポリシー第 11 章 1 に基づき実施しました。

なお、監査依頼者と監査実施者又は監査人との間には利害関係はありません。

外部監査は、平成 21 年 3 月 10 日（火）及び平成 21 年 3 月 12 日（木）に、「教育部 ICT 活用教育推進室」、「健康福祉部健康課」及び「子ども部子ども家庭支援センター」の 3 所属に対して、「ISO/IEC 27001：2005 認証基準」、「日野市情報セキュリティ対策基準」及び「地方公共団体情報セキュリティ管理基準（総務省）」を基に策定された「日野市情報セキュリティ管理基準」に照らして、情報セキュリティポリシーの実効性、遵守状況及び有効性について、関係者に対しヒアリング、規程や記録等のレビュー、現場での目視によって確かめました。

また、昨年度監査対象となった「健康福祉部障害福祉課」、「市民部七生支所」、「教育部学校課」及び「情報システム課」の 4 所属に対して、改善の実施状況を確認するフォローアップ監査を実施しました。

今回の監査において緊急性が求められる改善事項はありませんでしたが、今後改善が望ましいとされる改善事項が数件検出されました。しかしながら、全体として記録媒体の管理や外部委託先の管理など一般的に情報セキュリティ事故が多い分野に対する対応は徹底されており、各所属では特に意識的に対策が実施されておりました。

以下に検出事項の概要を報告します。

まずは、情報資産台帳の管理についての検出事項です。

情報セキュリティ対策は、管理対象とする情報資産を明確にし、変動がないかを継続して確認することでより確実な運用が可能となります。日野市においては、他自治体に先駆け平成 15 年度より情報セキュリティ対策を実施しており、継続した情報資産の管理がなされております。今後もより確実な管理を目的に、情報資産台帳の管理方法について情報セキュリティポリシー等で具体的な方法を明示し管理していくことで、より徹底された情報資産の管理が期待できます。

次に、情報資産の識別に関する検出事項がありました。情報資産を識別する目的は、人による管理のバラつきを無くすよう決まった方法で識別子を付けることにあります。日野市では管理対象別に情報資産の識別方法を具体的に規定しており、管理レベルを均一化する取組みがされております。よって、今後も継続した各所属での周知徹底が望まれます。

次に、執務室の物理的な対策、臨時職員が使用するパスワード対策等の検出事項がありました。通常の運用ではない例外的な運用の場合に情報セキュリティリスクが潜むことが多くあります。一般的にパスワードの利用は様々な運用がされていることが想定されますので、管理及び把握しているパスワードに漏れがないかを再度確認することが望まれます。

最後に、情報セキュリティ教育に関する検出事項がありました。日野市においては毎年全職員に対し情報セキュリティ研修を実施しております。情報セキュリティ対策を運用するのは「ひと」ですので、今後も危機管理意識の向上と安全な情報の利活用を維持するために、継続した研修の実施を行うことでセキュリティのレベルアップが期待できます。